

白門四八会

中央大学学生会白門48会会報26号
(題字：故 中央大学総長 高木友之助先生)

26

発行日：平成29年5月1日
発行人：山口隆司
発行所：中央大学学生会白門48会
東京都千代田区神田駿河台3-11-5
中央大学駿河台記念館学生会事務局
TEL：03-3219-6175
印刷所：㈱ディスカバリー



幹事会を兼ねて佐藤幹事長から報告が



酒井総長・学長からも挨拶をいただいた

平成29年 白門48会新年会を開催



白門48会新年会(於：新宿中村屋“グランナ”)

酒井総長・学長を交えて和やかに懇談



立食スタイルの会場は大盛況



酒井総長・学長は記念写真に引っ張りだこ

1月20日(金)、新宿中村屋8階レストラン「グランナ」で、平成29年四八会新年会を開催した。参加者は酒井正三郎総長・学長を含め34名と、総会と比べても遜色ないほどの会となった。第121回幹事会を兼ねていたため、宴会の前には佐藤幹事長が議長となり報告や連絡事項の確認が行われた。

新年会は、山口会長の挨拶で始まり、酒井総長・学長からも挨拶をいただいた。他の会合であれば来賓としてお招きするところだが、そこは同期生でもあり四八会員という立場で参加されたので、仲間との交流を楽しんでいただけだと思う。

立食スタイルだったのでフロアを行き来する参加者があちこちで声をかけ合い、あまりの盛況のためマイクの音も届かないほど。新規参加者も多くの旧友と交流できたようだ。

四八会といえば箱根駅伝五区六区、大平台での応援が知られるようになってきているが、今年はそれもかなわず残念がる声があった。来年こそ復活を、と誓う新年会になった。

菊田副会長のエール、長谷川副幹事長の中締めでお開きとなり、二次会参加者は新宿の街並みに消えていった。

〔学員時報〕「学員時報オンライン」に同様の記事が掲載されています。



中締めでは皆笑顔

会長挨拶

創立20周年を前にして



白門48会会長
山口 隆 司

四八会の皆様お元氣でお過ごしでしょうか。会長の山口でございます。

会長就任以来早くも丸三年を迎えようとしておりますが、皆様のご協力で、この一年もいろいろな催しやイベントを行うことができました。

その活動は、恒例の「箱根駅伝応援」をはじめとして、「ぶらり街歩き」、「グルメ同好会」、「新年会」、「花見会」、「中大スポーツ応援」、「ゴルフコンペ」、「他支部との交流」、「ボート」など多岐にわたっております。今年も例年通り予定しておりますので、初めての方もぜひご参

加ください。必ずやメンバーが暖かく迎えてくれるはずですよ。メインイベントである今年の総会は6月3日(土)15時から、昨年と同様新宿の小田急センチュリーサザンタワーで行います。高層からの素晴らしい眺望が魅力のホテルで皆さんの参加をお待ちしております。

また、ホームカミングデーは10月22日(日)、中央大学多摩校舎で開催されます。先輩から若い世代まで多くのOBが集まりますので、四八会としてもたくさんの方と親交を深めたいと思っております。

さて、来年平成30年はこの四八会創立20周年に当たります。現在でも当時創立に係わった方々がたくさん活動されており、そのおかげで今の四八会がある



2016年第25回ホームカミングデー

わけで、大変ありがたいことと思っております。

更に、来年は卒業45年という節目にもなっており、何か記念になるイベントを行いたいと考えております。記念会報の発行や、旅行、講演会等いくつかの候補が既に挙がっておりますが、これから具体的に検討していきます。

創立20周年記念事業に向けての取組み



白門48会幹事長
佐藤 愛子

白門四八会は学員会支部として1999年6月5日に第1回設立総会を開催して以来、来年2018年第20回総会で創立20周年を迎えます。

今年(2017年)6月3日の第19回総会で正式に「20周年記念事業委員会」を発足し、その準備に取り組んでまいります。

学員会支部の周年事業は大学、学員会本部からも注目されていきますので、皆様からの魅力あるイベントのご提案、アイデア等を出来るだけ取り入れていきます。ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

年間のスケジュール、メンバーは現在未決定ではありません。

ます。

来年の話とはいえ、今から会員の方々にはご協力をお願いしたいと思います。

最後になりますが、我々はなんとと言っても健康が一番です。皆さんのご健勝を祈念して挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

が、正式に発足した後には月一回程度の定例会議日程、会長を中心にした事業委員会委員決定のほか①20周年記念誌担当、②各種イベント担当、③20周年記念募金担当などの委員会を設置し、会員の皆様にもご参加頂ける体制作りをしていきたいと思っております。詳細は今年の総会で発表させていただきます。

過去10周年記念事業では(1)年間10以上のイベントを開催する、(2)10周年記念総会では100名以上の参加者を募る、(3)中央大学記念事業募金の累計目標額1250万円以上を達成する、などの骨子を決めた経緯があります。

実際には10周年記念誌の発行、総会60名の参加者、計画を大きく上回る16のイベント開催1250万円以上の募金達成がありましたことをご報告させていただきます。

白門48会副会長
出版企画・編集
なみきみち社代表

榎本 真一

090-3504-0985

白門48会副会長
(株)ディスカバリー代表取締役

島崎 修

080-5009-2466

白門48会幹事長
年次支部協議会副代表

佐藤 愛子

090-4098-7379

白門48会会長

山口 隆 司

090-5217-4081



食い倒れの大阪で、2017年「東京・関西交流会」を開催！

白門48会関西支部長
黒羽 一 記
(文卒・京都市在住)

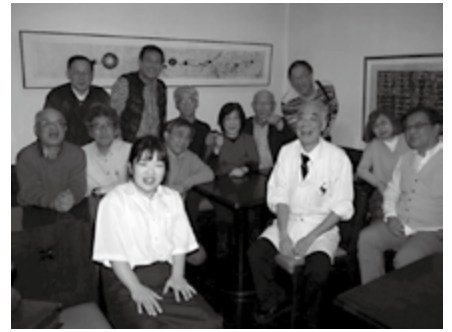


大阪城へ向かう参加者たち



大阪のシンボル大阪城をバックに記念写真

一昨年の神戸開催に引き続き、今年も「東京・関西合同交流会」を大阪で、3月5日(日)〜6日(月)にわたり開催しました。天気予報では、曇りから雨とのことでしたが、そこは日頃行いの良い参加メンバーばかり、二日間とも天候に恵まれ、楽しい交流会にすることが出来ました。



懇親会場にてフルメンバーお店の大将および女性スタッフと記念写真

阪急ホテルへ。第二次合流組と待ち合わせ。その後、ディープな大阪探索、通天閣でおなじみの新世界界隈へ。ここは串カツのメッカ、早々に串カツ屋さんに入り、喉を潤すとともに、串カツを堪能。
メインの夜の懇親会では、今回の参加のフルメンバーが勢ぞろい、飲んで食べて、しゃべり、二次会を含め、大いに盛り上がった大阪の夜でした。

同行記



狩 侯 健
(経済卒・神戸市在住)

梅薫る大阪での交流会

東北大震災のあの日から六年目を迎え、改めて被災された方々にお見舞いを申し上げます。3月5日・6日、関西交流会ではお世話になりました。ありがとうございました。

黒羽関西支部長に梅薫る大阪城をはじめ、大坂のコアな部分を案内していただき、感謝しています。

5日夜の交流会では、私の地元兵庫出身の藤原正和駅伝監督のお話をさせていただきました。この新監督は地元の誇りであり、応援していただければうれしいかぎりです。



関西における中大OBの交流サロン(関西文化サロン)にて

私の主張

しかし、母校を応援するならば自分ができることは何かを考えてほしいと思います。

たとえば、自分の出身校の後輩に優秀な生徒がいれば「中大をめざしてみませんか」と、声をかけてください。運動部だけに限りません。文化系の部活、たとえばブラスバンドも中大は強いですから吹奏楽部の生徒にもアプローチします。

OB全員がスカウトになると、それが中大を強くする最強の策だと思えます。今行動し、五十万学員のベクトルを一つにすること、それが重要です。

6月17日、全日本駅伝予選会。10月14日、箱根駅伝予選会。応援しましょう、皆さん。今年こそ伊勢、箱根で歓喜の輪を作りましょう。



日本一低い山の標識



天保山公園へ

翌日は、中大サロン(関西文化サロン)で珈琲での朝ミーティング後、大阪のシンボル「大阪城」から大阪港の天保山界隈へと散策。二日間、良く歩きました。参加の皆様、お疲れ様でした。

※天保二年(1831)に造られた人工的な築山。二等三角点が置かれ、日本一低い山として認定されている。

参加メンバーは、東京から計九名(山口、佐藤、水野、佐山、榎本、小林、細谷、細谷夫人、坂本)と関西組は三名(横田、狩侯、黒羽)でした。

ホームカミングデー 四八会カレー販売物語

三 森 孝 悦
(理工卒・所沢市在住)

2016年ホームカミングデーで、白門四八会は中村屋のカレー販売を実施しました。

5年前の2012年、「毎年ホームカミングデーに参加しているけど、ただ飲み食いして親睦を図るだけでなく、我々としてホームカミングデーで何か出来ないかな」という声が湧いてきました。

その後、定例で行われている幹事会の懇親会で「我々の同期生に、中村屋に勤めている小林政志さんがいるので、知名度の高い中村屋のカレーが販売できないか？」との案が出て、一気に「次回ホームカミングデーで実施しよう」という運びになりました。

それからが大変！ 言うは易し行は難しで、実行する皆素人！

カレーは小林さんの助言もあり業務用のレトルトが準備できましたが、ご飯は？ 手順は？ 価格は？ 容器は？ 等々課題はいっぱい。

それでも皆で知恵と力を寄せ集め、容器はわざわざ浅草っぱ橋道具街まで出掛けて準備しました（これが後で大失敗）。



カレー販売スタッフ

初めてのホームカミングデーでの模擬店販売、当日は緊張する中、準備が開始されカレーを温めて維持するウォーマーの使用方も分からず、そうしているうちに用意されていた電源ブレーカーが切れてしまい温まらず。

そこでポータブルガスコンロを急遽用意するなどしているうちに、ご飯は二〇〇人分が届きました。肝心の容器が届かない！ かつば橋の間屋に連絡すると、勘違いで今から届けるとの事！ しかし届くのはお昼頃、これでは間に合わないとのこと、また急遽近くのホームセンターに急行して器を準備。何とか11時頃に揃い、販売には事無きを得ましたが、昼食時は購入客も集中したものの昼過ぎると急に減少。これでは売れ残ると、応援に来て下さっていた中村屋の小林夫妻も出前販売に出て売り込みましたが、残

念ながら売れ残ってしまった。ご飯、カレーレトルトも四八会メンバーで分担購入し持ち帰ることとなりました。例年ですと、のんびり飲食していたホームカミングデーでしたが、さすがにこの回は楽しんでご舞いのうちに終了してしまいました。

さて翌年とは言いますと、もう懲りたと思いきや、是非またやるうとの声で盛り上がるも、この年は台風の影響でホームカミングデー自体が中止。

その事もあり、次年は再開実施しました。初回の反省を踏まえ、販売数は若干少なくしての実施でしたが、あいにくの天候のせいで、またもや売れ残りが発生してしまいました。

さて、2015年になりますと、これまでの経験から販売数量もセーブしたことや、我ら同期生の酒井さんが学長に就任して、昼食に味わって頂けた影響か？ 昼過ぎには完売し、余裕が出てきました。

そして昨年2016年の販売になりましたが、四回目になって認知度も高まり、昼過ぎには予定通り完売出来ゆつくりできるようにになりました。

これまでのホームカミングデーでの中村屋カレーの実施により、四八会メンバーのホームカミングデー参加者も心持ち増

加し、ホームカミングデーの参加意識も向上した気がします。従って我々のホームカミングデーと言うと「中村屋カレー」が脳裏に刻まれるようになったのではないのでしょうか。



2016年のカレー販売店

それでも「いつまで販売を実施するのか」という問題があります。まだ未定ではありますが、食品販売に関して年々厳しくなる衛生管理や、消防の規定などをクリアしなければならぬ事もあり、カレー販売の道具を小林さんから借りられる時まで、と言うことから、小林さんが中村屋に在籍しているまでと言う事にでもなることかと思われま

す。これらから、我々白門四八会の中では、ホームカミングデーと言うと「中村屋のカレー」がいつまでも思い出に残り、初期の失敗談が語り継がれてゆく事と思われませんが、また今年2017年も実施か！ な？

四八会花見会 陽気漂う飛鳥山公園

榎 本 真 一
(文卒・横浜市在住)

エイプリルフールの冷たい雨が嘘のように晴れ上がった翌日、4月2日の日曜日に四八会恒例の花見会が北区王子の飛鳥山公園で行われました。

早朝7時から貢献してくれたのは、近隣の国領さんと山口会長。公園中央の一等地、南向きの緩斜面に広大な宴席を確保、背後の桜の幹には誇らしげに四八会の幟旗が翻々と翻っています。

宴会開始の定刻は午前11時。待ちきれない会員が早速乾杯。花は五分咲き程度で満開には程遠い状態ではありましたが、桜の下はすぐに満開。どんどん出来上がっていきます。

と見てきたようなことをいつていますが、筆者は遅刻組。会場に到着したのは12時半を過ぎた頃でした。戸田公園の桜を見ながらポートを漕いでいたので、



桜の下はもう満開

遅くなりました。

着いた頃、飛鳥山は花の山というより人の山。列をなす人垣で階段が登れないほど。四八会の宴席も前後左右酔客ですっかり取り囲まれていました。

麗らかな日差しはほかほかと暖かく、冷たいビールのおいしいことといたらありません。各人が持ち寄った料理の数々は本人手作りから奥様の手料理、乾き物まで実にバラエティーにあふれたラインナップ。それぞれに舌鼓を打ちました。

会員ゆかりの若い女性たちも参加し席は一層華やかに。

四八会の旗を見て、挨拶と称しくだを巻きにくる後輩たちともコミュニケーションをとったり、白門の絆を感じる屋外宴会ではありました。

日が傾きかけた頃、ブルーシートを片付け、ゴミも拾い、二次会のために王子の町へと下山しました。



2次会の前に記念撮影



国際交流同好会 平成23年～28年

小林 裕

(文卒・江戸川区在住)

交流会は、平成23年11月には、グレッグ外語主催のインド駐日大使講演会参加。24年6月に、名古屋のAFS講演会参加。同会のTBSアナウンサー秋沢淳子女士と一緒に写真を撮った。24年8月に、白門江戸川区支部主催の蓮池薫講演会に企画参加。24年11月に、グレッグ外語主催のルース前米駐日大使のTPPについての講演会を拝聴、後任が、キャロライン・ケネディ女士。27年7月に、文京区支部主催の蓮池氏講演会参加。

海外旅行では、23年の10月に韓国の済州島を4日間視察。24年の1月に、中国の上海・江南地方を8日間周遊。かなり寒く、手袋をして見学した。24年の7月にハワイのオアフ島を4日間訪問。25年の6月には、トルコ共和国を10日間バスで巡り、温泉に入った。25年の11月には台湾をバスで、5日間一周した。26年の7月には甥の結婚式で、



白門江戸川支部役員と蓮池薫氏
(筆者:後列右側・新潟産業大学にて)

ハワイのオアフ島を再訪。27年の9月にはスリランカを訪問し、シギリヤロックに登り、象に乗った。28年5月にベトナムの北部の景勝地ハロン湾とハノイを周遊。次はロシア。

年末のグルメ同好会 『ぶぐを食する会』

藤野 美知子

(文卒・横浜市在住)

結婚以来横浜のチベットの住む私にとって、毎年恒例の桜木町でのこのイベントは嬉しいものです。

クリスマスのみなどみらいの美しいイルミネーションと年末独特の繁華街の高揚感を楽しめます。

三回目の今年は日程を変更したことで十名の参加にとどまりました。

桜木町駅からほど近い野毛の『いとや』さんはアットホー

ムで外の寒さもわすれます。勝手知ったる何とかで皆どかどかと二階へ上がっていきます。十数名にはちょうど良い広さで貸し切りです。

先ず一人に半身ずつのズワイガニ。これがまた美味しく、メインはフグなのにこのカニも美味しく楽しみなのです。程よく厚めに切られたフグ刺しに舌鼓をうち、「ひれ酒お替り！」の声も聞こえてきます。残念ながら私は日本酒が苦手です。

同級生の榎本さんのように浴びるほど呑んでも、ビール一杯だけでも割り勘です。少々のくやしきも手伝って、「ひれ酒」に挑戦してみたところ、意外に呑みやすく、いえ、美味しく、お替りしてしまいました。

フグがたくさん入ったお鍋で身体中が温まり、ご飯が大好きな私にはしめの雑炊がまたたまりません。

満腹になっても二次会は恒例。「いとや」さんからすぐ近くの、菊田さんが何十年も通う「みつ徳」へ。このお店も何をいただいても美味しく、何度でも行きたいお店です。

美味しいものを食べることが唯一の楽しみである私が参加できる四八会のイベントはグルメと初心者向けのハイキング位です。もうしばらく楽しみたいと思います。

願わくばもう少し、女性の参加者の増えること。期待しています。

美味しいものを美味しい！と感じられる幸せをいつまでも！

学生スポーツ応援同好会 中央大学ラグビー部激励会

金子 健治

(法卒・杉並区在住)

平成29年2月24日、例年通り四八会と中大ラグビーファンの共同開催という形で激励会を行いました。

かつて第一回開催に際して、「選手とじっくり話をしたい」との要望があったため参加者を絞り、選手の苦労話や寮生活の面白い話等々が聞ける、応援する者としてはこれ以上ない会として定着しております。

今年も選手三名でしたが、宴会部屋入室時には我々のコートをお客様に分らないくらいに雰囲気の中で、約三時間楽しい時間を過ごしました。

一年次よりレギュラーとして活躍する佐野君、今季主務を務めながらもAチームを目指す内野君、そして私立校全盛の東京にあつて奮闘する都立の強豪高校出身の佐々木君、いずれもハキハキとして笑顔が印象的な選手たちでした。

総会のお知らせ

【第19回白門48会総会】

日時：6月3日(土)
15時～

場所：小田急センチュリー
サザンタワー
(新宿駅南口より徒歩5分)



中大ラグビー部激励会に参加した皆さん

昨年は中大初の四年連続で大
学選手権出場を果たしたものの、
リーグ戦では三勝四敗と選手に
とつても我々にとつても不本意
な結果だっただけに、今年に
かける意気込みが伝わって来て、
益々力が入るとういうものです。
大学三大スポーツ(ラグビー・
野球・駅伝)のひとつで、他大
学が力を入れるなかにあつて、
練習環境も恵まれているとは言
い難い我が中大に進学してくれ
少ない部員数でもリーグ戦1部
で母校のために頑張っているラ
グビー部を、中大一族皆で応
援しましょう！

箱根駅伝応援同好会 立川ハーフマラソン観戦記

新倉 利明
(経済卒・武蔵野市在住)

3月5日(日)昭和記念公園
をコースの中心とした日本学
生ハーフマラソン選手権(立川
ハーフ)を井沢副会長、川名幹
事とともに観戦応援した。(小
田前会長は審判として参画)

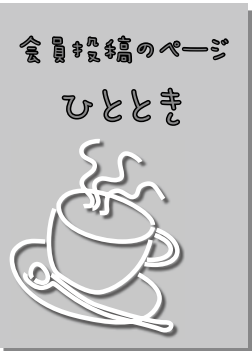
箱根駅伝連続出場記録が87回
で途切れてしまった昨年の予
選会での一選手の走行距離は20
キロメートル。

今年秋の予選会突破を占うた
めにも21・0975キロメー
トルのハーフマラソンは大いに
参考になると意気込んでスタ
ト5キロ地点に陣取る。

5キロでは新三年のエース候
補堀尾選手が先頭集団に。しか
し16キロ地点、ゴール付近と観
戦場所を移動するたびにズルズ
ルと後退、チーム内の順位も苗
村、中山の両選手に次ぐ二位。
ここは苗村、中山両君の頑張り
を評価する、ということに気持
ちを無理に切り替えたいところ。
それにしても優勝した神大の
鈴木健吾君、さすが今年の箱根
駅伝二区区間賞の走りだった。
軽い足取り、涼しい顔でゴール
に。

しかし中大だって今春入学す
る藤原スカウトの一年生、相模

原クロカンでは一位、五位、八
位の快走。予選会は軽く、涼や
かに突破といきたいところだが。



新たな学びの日々

坂本 賢一
(経済卒・さいたま市在住)

平成26年に退職した後、翌年
の4月から放送大学で学んでい
る。正式に全科履修生となった
のは、27年の10月からである。

中大時代は経済を専攻したの
で今回は、文学と歴史が中心の
「人間と文化」コースに入った。
日本史の古代から現代までを体
系的に学び直せたのは良かった。
研究が進んで、歴史記述の変



朗読をする坂本さん

わりようは大きく、驚くばかり
である。あの大化の改新は乙巳
の変、江戸時代に鎖国はなかつ
たという。まさに時代とともに
歴史は変わる。こうしたことを
知り得たことは、新たに学んだ
メリットである。

また、日本文学の古典を基本
から学ぶこともでき、奥の細道
についてレポートを書くなど俳
句の世界に触れることもできて
いる。

そしてサークルに入り、高校
のころから興味があった朗読
を五十年ぶりに体現できてい
る。井上ひさしの「少年口伝隊」

俳句投稿

上原 秋雄
(文・佐久市在住)

あるがまま老いて悔いなき根深汁
虹立つも誰も渡れぬアーチかな
二階より妻と見上げる遠火花
お月見や団子の喰えぬ地蔵かな
冬晴れや梅の老木春を待つ

三橋 隆
(文・成田市在住)

桜見の旅へ旅へと日を待ちて
牡丹雪幼き頃の津軽かな
水雨打つ蕾忍ぶや早桜

会費納入のお願い

白門48会は本年創立19年目を迎え、
年間を通して全会員を対象にした同
好会活動や懇親会活動を柱に、活発
な活動を展開しております。その活
動助成やご案内、会報の発行、ホ
ムページの更新など会の財政運営は
会員の皆様の会費によってまかな
われています。

ついでに会費の納入方法を前年の
総会でも変更いたしました。すなわち
会則の一部を改正し、一括前納制度
を改め、逐年ごとに年会費を納入
いただくよう承認をいただきました。
前納分が終了した方から順次ご案内
をいたしますので、各年度の会費と
して入金していただくようお願い申
し上げます。(3000円/年)

厳しい経済情勢のあり、まことに
恐縮ですが、ご賢察のうえ格段のご
配慮をいただきたく、よろしくお願
い申し上げます。

白門48会 連絡先

幹事長 佐藤愛子

〒192-0351
東京都八王子市東中野228-1101
TEL & FAX: 042-679-3329
携帯電話: 090-4098-7379
Eメール: ai-mimo.310.dm@amber.plala.or.jp